

# スーパーマーケット景気動向調査

2019年4月調査結果（3月実績）  
（2019年4月23日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

## 【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」  
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」  
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

---

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比(%)に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

## 【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

---

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比(%)に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会  
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会

## 4月調査（3月実績）結果概況

### 景気判断 現状判断DIは大きく改善

3月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から+4.6の44.3、見通し判断は前月から+1.0の41.1となり、共に2ヵ月連続で改善をみせた。

経営動向調査では、売上高DI、収益DI共にマイナス圏の推移が続いているものの、前月に比べて7ポイント程度上昇した。青果の相場安により、生鮮仕入原価DIはマイナス圏で推移が続いているが、一般食品に値上げが相次いだことで、食品仕入原価DIは6.3、客単価DIが-3.6まで上昇したことや日曜日が一回多い曜日巡りにより、来客数DIも-11.4とマイナス幅を縮小したことが影響している。

カテゴリー動向調査では、青果相場安により、青果DIが-23.2と大幅なマイナス圏で推移しているものの、行楽需要やハレの日にちなんだ需要が高まり、他のカテゴリーDIでは、すべて前月に比べDIは上昇をみせている。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査は、2ヵ月連続で改善したものの、昨年10月以降の悪化により中長期トレンドはすべて下向きでの推移が続いている。（周辺地域景気動向DI 長期傾向参照）

景況感は2ヵ月連続で改善したが、現状判断DIが中心となっており、青果相場下落による低迷が引き続き下押しするなか、日曜日の一回多い曜日巡りや、食品の相次ぐ値上げが判断を引き上げた構造となっている。今後の見通し判断DI改善に向けては、さらなる外部環境の好転が待たれる。消費税率引き上げを控え、消費に不透明感が増すことが予想され、先行きは予断を許さない。

#### 景況感調査

##### 現状判断

<b>景気判断DI</b> 当月： <b>44.3</b> (+4.6) 前月：39.7	<b>消費者購買意欲DI</b> 当月： <b>43.3</b> (+2.5) 前月：40.8	<b>周辺地域 競合状況DI</b> 当月： <b>41.5</b> (+2.8) 前月：38.7	<b>店舗周辺地域 景気判断DI</b> 当月： <b>44.7</b> (+1.3) 前月：43.4
--	---	---	---

##### 見通し判断

<b>景気判断DI</b> 当月： <b>41.1</b> (+1.0) 前月：40.1	<b>消費者購買意欲DI</b> 当月： <b>42.6</b> (+1.2) 前月：41.4	<b>周辺地域 競合状況DI</b> 当月： <b>39.1</b> (+1.1) 前月：38.0	<b>店舗周辺地域 景気判断DI</b> 当月： <b>43.9</b> (+0.3) 前月：43.6
--	---	---	---

#### 経営動向調査 経営状況

<b>売上高DI</b> 当月： <b>-10.5</b> (+7.4) 前月：-17.9	<b>客単価DI</b> 当月： <b>-3.6</b> (+6.6) 前月：-10.2	<b>来客数DI</b> 当月： <b>-11.1</b> (+3.5) 前月：-14.6	
<b>収益DI</b> 当月： <b>-8.6</b> (+7.3) 前月：-15.9	<b>販売価格DI</b> 当月： <b>-1.9</b> (+1.5) 前月：-3.4	<b>生鮮品仕入原価DI</b> 当月： <b>-2.0</b> (+3.7) 前月：-5.7	<b>食品仕入原価DI</b> 当月： <b>6.2</b> (+5.3) 前月：0.9

#### カテゴリー動向

<b>青果DI</b> 当月： <b>-23.2</b> (+2.7) 前月：-25.9	<b>水産DI</b> 当月： <b>-1.3</b> (+4.2) 前月：-5.5	<b>畜産DI</b> 当月： <b>-2.8</b> (+10.9) 前月：-13.7	
<b>惣菜DI</b> 当月： <b>-2.4</b> (+4.9) 前月：-7.3	<b>日配DI</b> 当月： <b>-8.5</b> (+5.9) 前月：-14.4	<b>一般食品DI</b> 当月： <b>0.3</b> (+8.3) 前月：-8.0	<b>非食品DI</b> 当月： <b>-8.3</b> (+4.1) 前月：-12.4

○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

## 4月調査（3月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

### 1. 売上高DI

マイナス幅を縮小も、引き続き二桁マイナス圏で推移

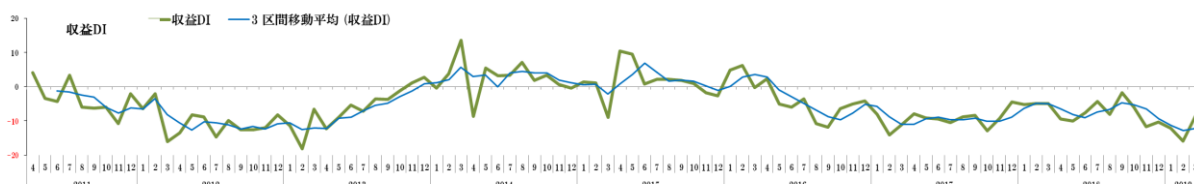
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	20.2	44.6	22.3	12.4	0.5	-17.9
売上高 (当月)	<b>14.2</b>	<b>35.8</b>	<b>29.0</b>	<b>19.9</b>	<b>1.1</b>	<b>-10.5</b>



### 2. 収益DI

当月上昇しマイナス幅を縮小

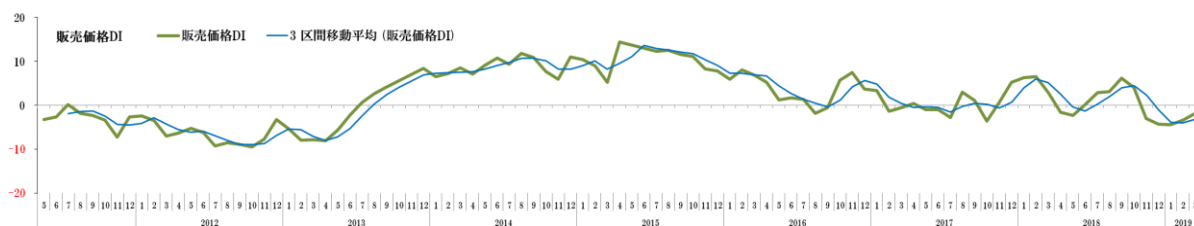
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	18.5	40.2	29.1	10.6	1.6	-15.9
収益 (当月)	<b>9.8</b>	<b>39.1</b>	<b>28.7</b>	<b>20.7</b>	<b>1.7</b>	<b>-8.6</b>



### 3. 販売価格DI

小幅なマイナス圏で横ばい推移

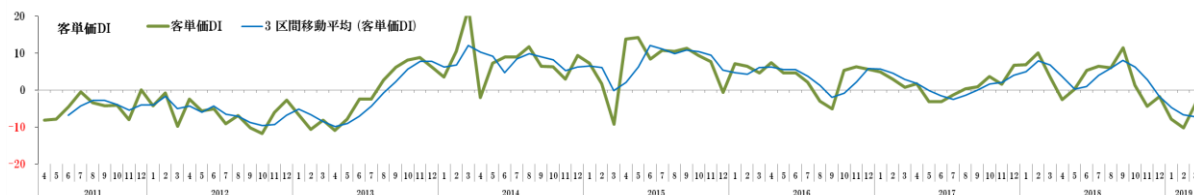
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	1.0	25.5	59.4	14.1	0.0	-3.4
販売価格 (当月)	<b>0.6</b>	<b>23.4</b>	<b>58.9</b>	<b>17.1</b>	<b>0.0</b>	<b>-1.9</b>



### 4. 客単価DI

マイナス幅を縮小し、小幅なマイナス域で推移

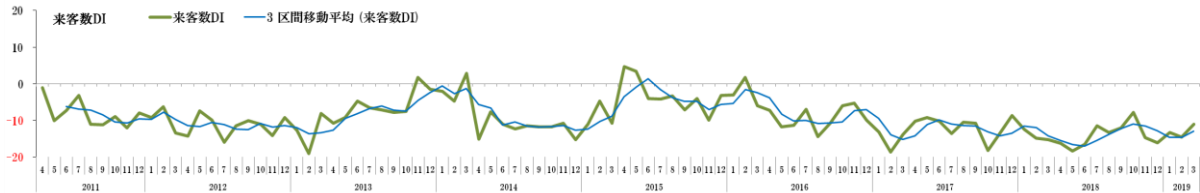
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	5.2	45.0	35.1	14.7	0.0	-10.2
客単価 (当月)	<b>1.7</b>	<b>29.7</b>	<b>49.7</b>	<b>18.9</b>	<b>0.0</b>	<b>-3.6</b>



## 5. 来客数 DI

当月やや上昇も二桁マイナス圏で低迷続く

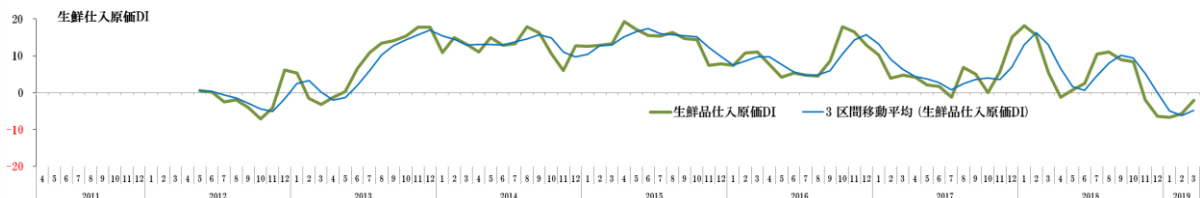
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	13.0	49.5	22.4	13.0	2.1	-14.6
<b>来客数 (当月)</b>	<b>9.2</b>	<b>40.8</b>	<b>36.8</b>	<b>11.5</b>	<b>1.7</b>	<b>-11.1</b>



## 6. 生鮮仕入原価 DI

マイナス幅縮小も、5ヵ月連続のマイナス圏

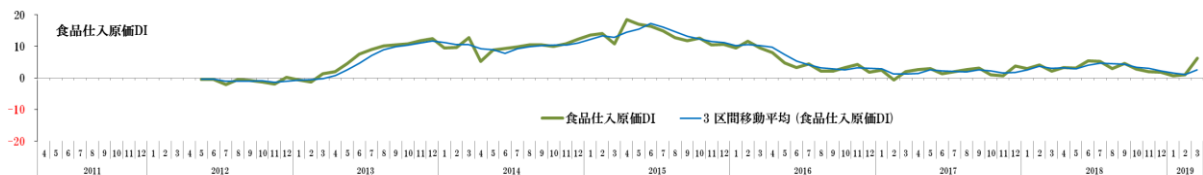
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	5.9	28.3	49.2	16.0	0.5	-5.7
<b>生鮮仕入原価 (当月)</b>	<b>4.0</b>	<b>24.3</b>	<b>50.3</b>	<b>18.5</b>	<b>2.9</b>	<b>-2.0</b>



## 7. 食品仕入原価 DI

当月上昇し、プラス幅を拡大

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	3.2	14.7	57.9	23.7	0.5	0.9
<b>食品仕入原価 (当月)</b>	<b>2.9</b>	<b>9.2</b>	<b>50.9</b>	<b>34.1</b>	<b>2.9</b>	<b>6.2</b>

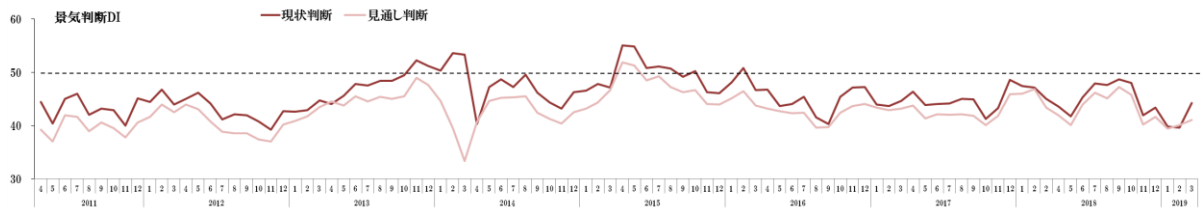


## II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景気判断のみ 2010年4月～)

### 1. 中核店舗景気判断 DI

現状判断は大幅に改善、見通し判断は小幅な改善にとどまる

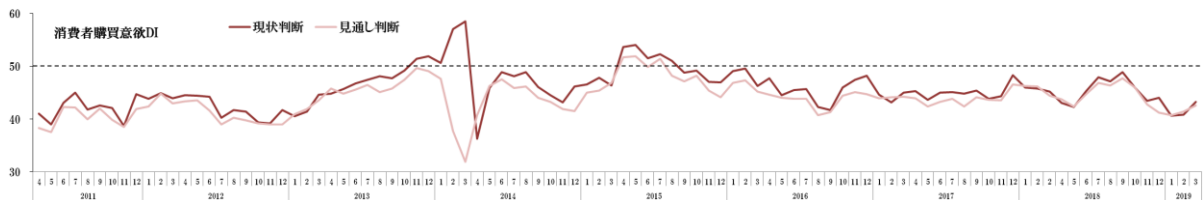
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	5.8	35.1	54.5	4.2	0.5	39.7
【現状】景気判断 (当月)	<b>4.6</b>	<b>27.0</b>	<b>56.3</b>	<b>10.9</b>	<b>1.1</b>	<b>44.3</b>
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	7.3	32.5	53.4	6.3	0.5	40.1
【見通し】景気判断 (当月)	<b>6.3</b>	<b>31.6</b>	<b>53.4</b>	<b>8.6</b>	<b>0.0</b>	<b>41.1</b>



### 2. 消費者購買意欲 DI

現状判断は大幅に改善、見通し判断は小幅な改善にとどまる

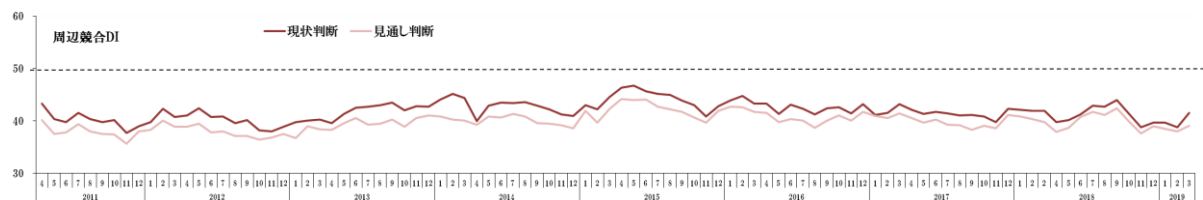
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	2.6	36.1	56.5	4.7	0.0	40.8
【現状】購買意欲 (当月)	<b>2.3</b>	<b>29.1</b>	<b>61.7</b>	<b>6.9</b>	<b>0.0</b>	<b>43.3</b>
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	2.6	33.2	60.0	4.2	0.0	41.4
【見通し】購買意欲 (当月)	<b>2.9</b>	<b>30.3</b>	<b>60.6</b>	<b>6.3</b>	<b>0.0</b>	<b>42.6</b>



### 3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状判断、見通し判断共にやや改善

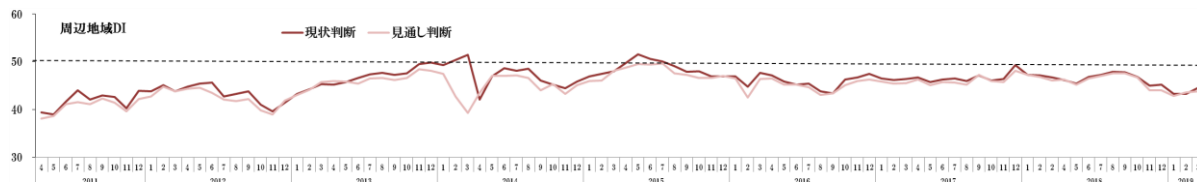
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	6.3	35.1	56.0	2.6	0.0	38.7
【現状】競合状況 (当月)	<b>5.1</b>	<b>26.7</b>	<b>65.3</b>	<b>2.8</b>	<b>0.0</b>	<b>41.5</b>
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	8.9	34.6	52.4	4.2	0.0	38.0
【見通し】競合状況 (当月)	<b>9.1</b>	<b>29.0</b>	<b>58.5</b>	<b>3.4</b>	<b>0.0</b>	<b>39.1</b>



#### 4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状判断は小幅に改善も前月水準で推移

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気 (前月)	1.1	25.0	73.4	0.5	0.0	43.4
【現状】地域景気 (当月)	1.7	20.2	75.7	2.3	0.0	44.7
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気 (前月)	2.1	22.9	73.4	1.6	0.0	43.6
【見通し】地域景気 (当月)	2.3	22.1	73.3	2.3	0.0	43.9



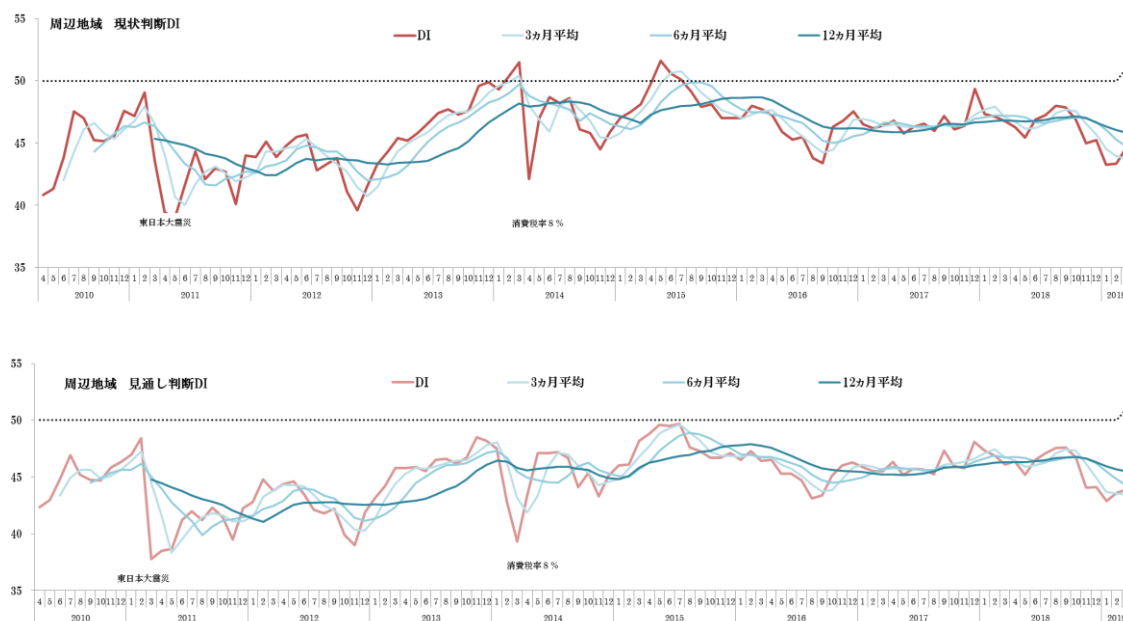
#### ※長期傾向 (2010年4月～)

11年3月の東日本大震災後低迷を続けていたDIは、12年11月から16ヵ月にわたり改善が続き、14年3月には現状判断DIが51.5を記録した。

14年4月の消費税率引き上げにより大きく悪化したものの、その後徐々に持ち直しをみせ、2015年5月には調査開始以来の最高値を更新し、現状判断DIは51.6にまで達した。

しかしこれをピークとし、その後15ヵ月にわたり悪化傾向が続き16年9月には、現状判断DIは43.4まで低迷した。以降やや改善傾向が続いていたが、18年に入り悪化が続き、5月には移動線付近を下回る水準まで低下した。その後6月以降は持ち直し改善傾向が続いた。

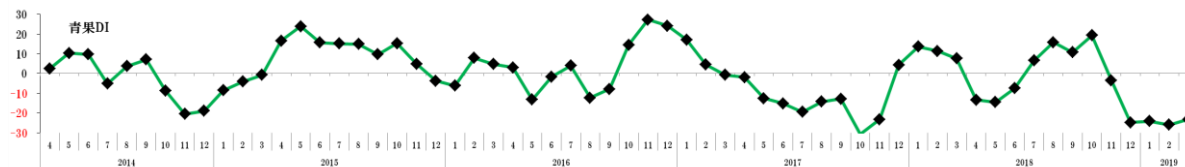
10月から再び悪化幅を広がり、11月にはすべての移動平均線がマイナス方向に転換し、以降弱含みの推移が続いた。3月に入りやや持ち直しの動きをみせた。



### Ⅲ. カテゴリー別動向

#### 1. 青果DI：-23.2（かなり不調）

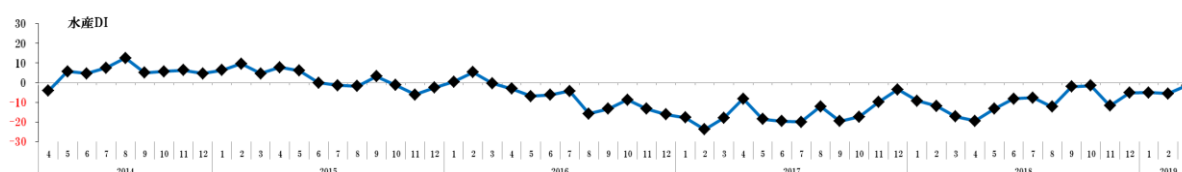
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果 (前月)	38.9	35.7	16.8	7.6	1.1	-25.9
青果 (当月)	<b>33.3</b>	<b>38.7</b>	<b>17.9</b>	<b>7.7</b>	<b>2.4</b>	<b>-23.2</b>



引き続き、葉物や土物類などを中心として相場安が続いており、一品単価が低迷したことでかなり不調な動向となった。春物の豆類（グリーンピース・スナップエンドウ）、健康報道のあった玉ねぎや舞茸などが好調とのコメントがみられた。果物類は不作で価格の高いいちごや、入荷が不安定な柑橘類は好不調まちまちであったが、キウイフルーツやアボカドの動きがよかった。

#### 2. 水産DI：-1.3（やや不調）

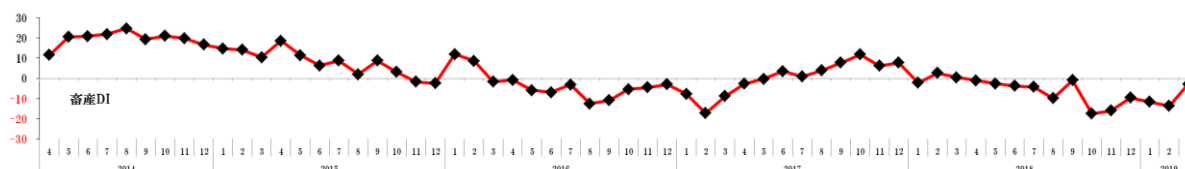
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産 (前月)	11.4	29.2	32.4	24.3	2.7	-5.5
水産 (当月)	<b>7.2</b>	<b>27.5</b>	<b>36.5</b>	<b>21.0</b>	<b>7.8</b>	<b>-1.3</b>



引き近海魚は入荷の不安定な状況が続き低迷しているが、カツオの売上に回復傾向がみられているほか、あじやぶり、さばなどの大衆魚が比較的好調となった。旬のホタルイカやイカナゴは不漁により大きく落ち込んだ店舗が多い。ひな祭り商戦では、週末と重なったことで、手巻き寿司セットなどが好調となった。海藻類はこれまでの特需からの反動減もみられた。

#### 3. 畜産DI：-2.8（やや不調）

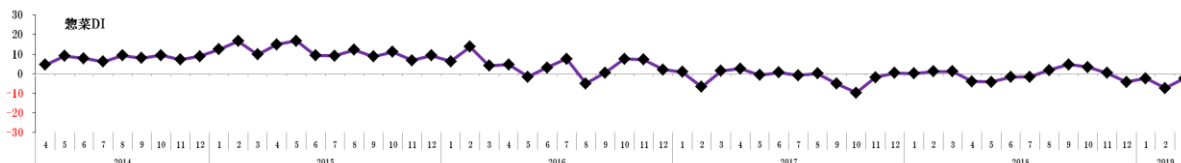
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産 (前月)	15.1	40.3	30.1	13.4	1.1	-13.7
畜産 (当月)	<b>7.8</b>	<b>28.7</b>	<b>34.7</b>	<b>24.6</b>	<b>4.2</b>	<b>-2.8</b>



イベントが多い月にあたり、簡便化メニューとご馳走メニューに消費が二極化した傾向がみられた。牛肉は焼肉やステーキ、しゃぶしゃぶなどのメニューが堅調で和牛と輸入牛に消費が二極化する傾向がみられた。豚肉は気温の上昇とともに生姜焼き用や炒め物用の需要が高まり、相場がやや高騰している国産、輸入豚どちらの動きもよかった。鶏肉は銘柄鶏を中心に好調となった一方で、価格競争の厳しさを指摘するコメントもみられた。ハムやソーセージなどの加工肉はやや持ち直し傾向が続いている。

#### 4. 惣菜DI：-2.4（やや不調）

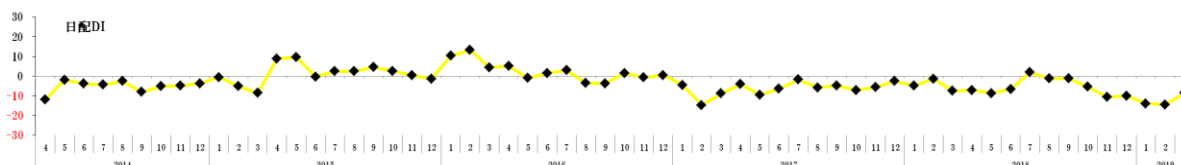
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	11.0	29.8	38.7	18.2	2.2	-7.3
惣菜（当月）	6.6	25.9	42.2	21.1	4.2	-2.4



日曜日が一回多い曜日巡りに加え、気温が高く、比較的天候に恵まれたため行楽需要、弁当やおにぎりなどの米飯類や寿司類、麺類、焼き物などが全般的に好調に推移した。特に旬の食材を使った季節感や加工度の高い惣菜の動きがよいとのコメントが多くみられた。前年青果相場の高騰により好調であったサラダ関連は反動で不振となった。人手不足により新商品開発などが十分に行えないことへの不安もみられた。

#### 5. 日配DI：-8.5（やや不調）

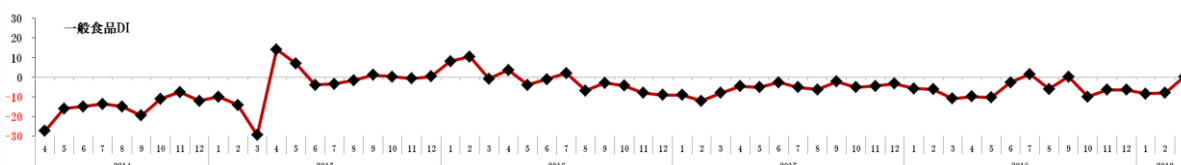
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	14.5	39.2	35.5	10.8	0.0	-14.4
日配（当月）	9.5	36.3	34.5	17.9	1.8	-8.5



昼夜の寒暖の差大きく売場づくりに苦心したというコメントが多くみられた。機能性ヨーグルトは販売が好調な一方で価格競争が厳しかった。青果相場の下落を受けて漬物カテゴリーは不振となった。健康報道により納豆、甘酒、梅干しには特需が続いている。さらにTV報道があったチーズ類を好調とするコメントが多い。牛乳やパン類は持ち直し傾向がみられた。アイスは前年の反動で不調となった店舗が多い。

#### 6. 一般食品：0.3（やや好調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	9.1	33.7	39.6	15.5	2.1	-8.0
一般食品（当月）	3.6	25.4	42.0	24.3	4.7	0.3

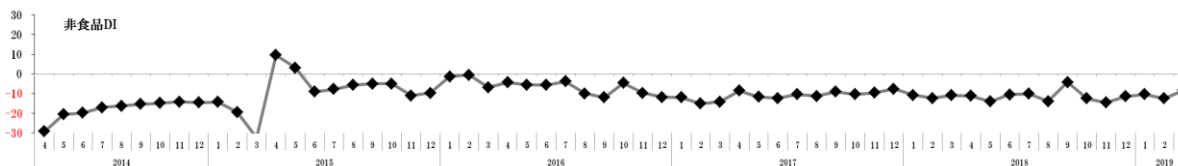


一般食品カテゴリーで値上げが続いているが、報道によりサバ缶やえごま油などの食油、リンゴ酢、もち麦などの雑穀類に特需が継続しており、全体としてやや好調となった。またNHKドラマの影響で乾麺も好調となっている。また米類も好調となった。行楽用の飲料やウイスキーは好調となっているが、ビールは気温差の影響で地域により好不調まちまちとなった。また、菓子類や酒類はドラッグストアやディスカウントストアとの価格競争の厳しさへの指摘が目立った。



## 7. 非食品 DI：-8.3（やや不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	14.9	34.8	37.0	11.6	1.7	-12.4
非食品（当月）	10.4	33.7	37.4	15.3	3.1	-8.3



例年より花粉の飛散が多く、マスクや紙製品の動きがよかった。電子タバコを中心に好調とのコメントが多くみられた。ホームセンターやドラッグストアなどの競合が厳しく低迷が続いている。

### カテゴリ別 DI による好不調判断

かなり好調：～ 20      好調：20 ～ 10      やや好調：10 ～ 0  
 やや不調：0 ～ -10      不調：-10 ～ -20      かなり不調：-20～

### 2019年4月調査（3月実績）キーワード TOP3

1. 日曜日が一日多い
2. 青果相場安
3. 消費の二極化

### スーパーマーケット景気動向調査 集計数

3月実績速報版 176社  
 2月実績確報版 193社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 [tokei@super.or.jp](mailto:tokei@super.or.jp)